

葛野だより

特別号

京都市立葛野小学校

令和8年9月30日

校長 野村 達哉

〒615-0882

京都市右京区西京極葛野町 2

TEL:075-311-3510

FAX:075-311-3557



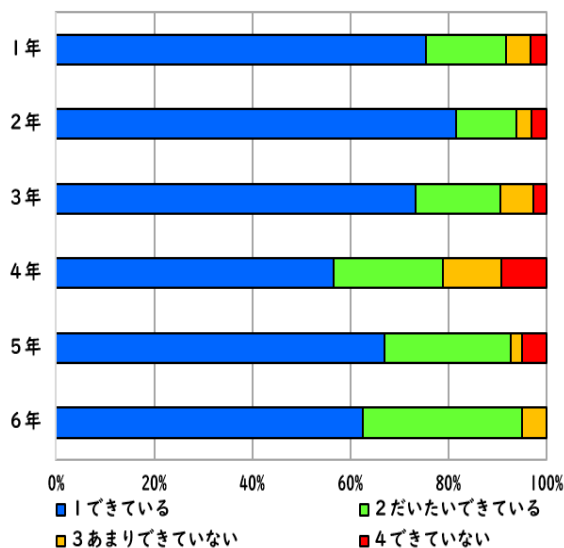
学校 HP へは
こちらから

令和8年度前期学校評価の結果を分析・検討し、「今後の展望」としてまとめさせていただきました。アンケートへのご協力ありがとうございました。ぜひ、ご一読いただき、今後の取組にご理解・ご支援いただきますようお願いいたします。今後も、「子どもが明日の登校を待ち望む学校」となるようさらに取り組んでいきたいと思ひます。

『子どもたちが明日の登校を楽しみにする学校』にむけて

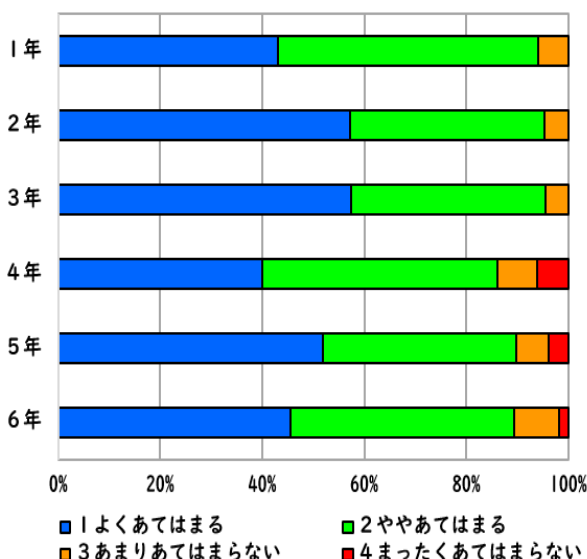
【児童アンケート結果】

毎日、楽しく学校に通っている。



【保護者アンケート結果】

毎日、楽しく学校に通っている。

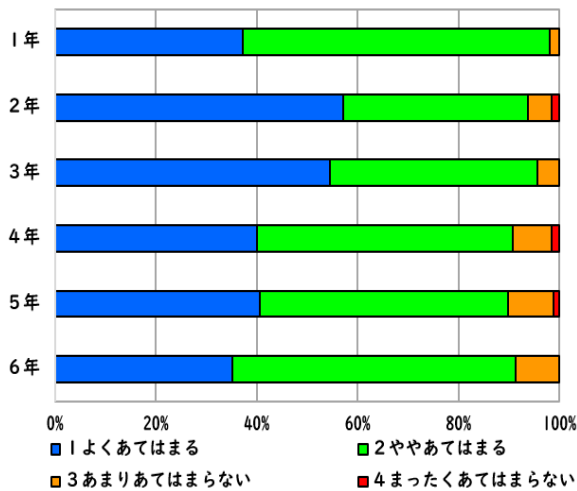


アンケートの結果をもとに、学習指導や生活指導に生かしていきたいと考えております。紙面の都合上、アンケートの集計結果をすべて掲載することができません。葛野小学校のホームページでは、全ての項目を掲載しておりますのでご覧ください。

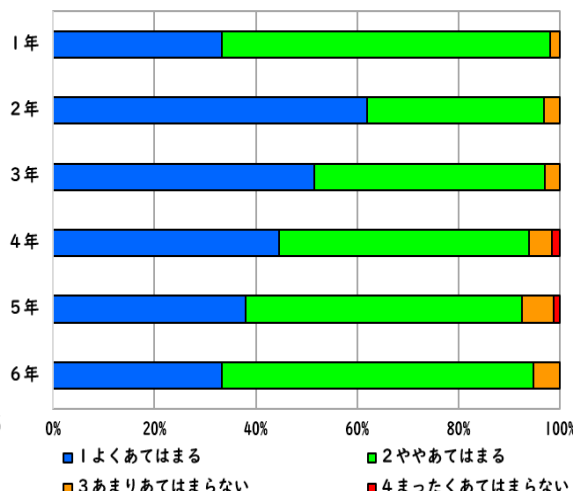
学年によって多少の差があるものの、児童・保護者共に「毎日、楽しく学校に通っている」という回答が約90%を占める割合となっていました。各学級・学年での学習活動や学校行事に加え、たてわり活動やクラブ活動などの異学年交流も子どもたちにとって楽しいと思える一つの要素ではないかと考えます。今後のスポーツフェスティバルやミュージックフェスティバルといった行事を中心に、さらに子どもどうしのつながりを大切にした教育活動を実践していきたいと考えています。一方で、「あまりできていない」「できていない」の回答も昨年度より増えています。この結果を真摯に受け止め、子どもたちに今以上寄り添い、一人一人を徹底的に大切にす教育を積み重ねていきたいと思ひます。

『わかる授業』・『子ども理解』について【保護者】

先生は子どもをよく理解し、真剣に対応している。



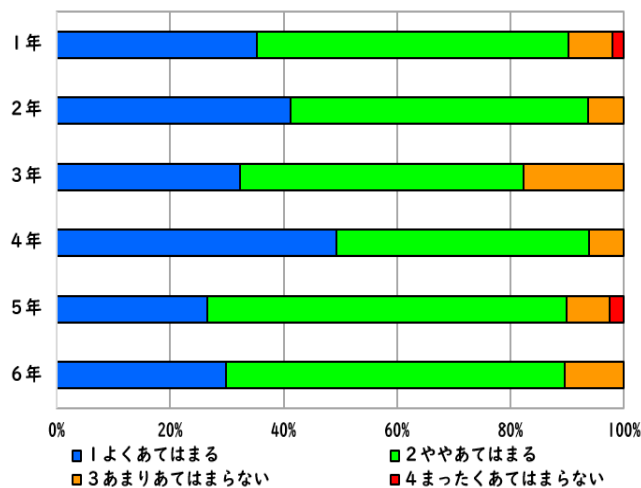
先生はわかりやすい授業を工夫している。



- ◆「先生は子どもをよく理解し、真剣に対応している」について、どの学年も90%近く「よくあてはまる」「ややあてはまる」の回答をいただいています。しかし、全学年を通して、「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」の回答もいただいています。子どもたちの言葉にしっかりと耳を傾けたり、子どもたちの思ひを丁寧に聞いたりして対応していけるように今以上に努力していきたいと思ひます。今後の方針を決めたり、対応を考えたりする時も、子どもの思ひに寄り添い、共に考えることに時間をかけるなど、子どもたち一人一人の多様な考え方を大切にしていきたいと思ひます。
- ◆「先生はわかりやすい授業を工夫している」についても、どの学年でもほぼ90%以上で「よくあてはまる」「ややあてはまる」となっています。今年度も専科教員の配置や学年内での交換授業などの取組をしています。また、どの授業においても「対話力」を重視し、友達とコミュニケーションをとったり、関わり合ったりしながら自分たちの課題を主体的に解決していけるように授業改善にも努めています。子どもたち自らが「問い」をもち、その問いを解決していく中で次の新しい「問い」が生まれるといった常に子どもたちが自分ごととして考えることができる授業を目指していきたいと思ひます。そのために、2ndGIGA はもちろんのこと、様々なツールを使っていきたいと考えています。

保護者・地域との連携について

学校の様子を HP や学年だより等でよく知らせている。



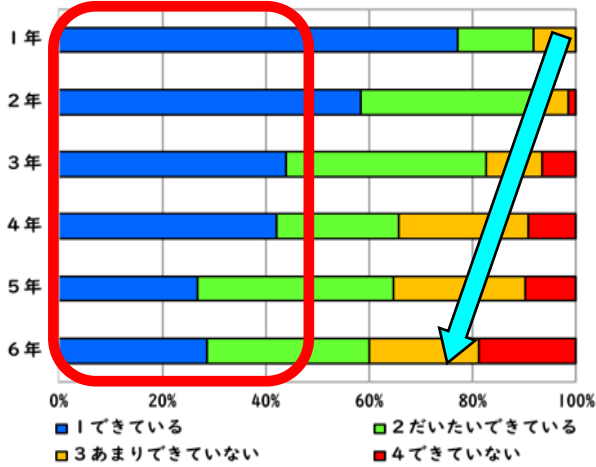
「学校の様子を HP や学年だより等でよく知らせている」については、約90%の割合で「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答をいただいています。しかし、昨年度と比較してみると、「よくあてはまる」の割合が減少し、「あまりあてはまらない」の割合が若干増えています。

ホームページでは、学年の様子を随時アップし、子どもたちの様子や学年の取組を保護者の方をはじめ地域の皆様など多くの方に知っていただけるように今以上に努めていきたいと思ひます。また、すぐえるの内容や学校だよりの内容をさらに充実させていきたいと思ひます。

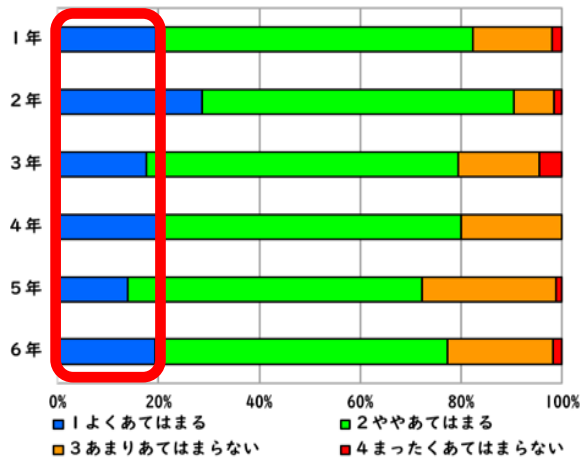


家庭学習の習慣化について（左：児童 右：保護者）

家での勉強は、学年×15分できている。



家庭学習の習慣が身についた。

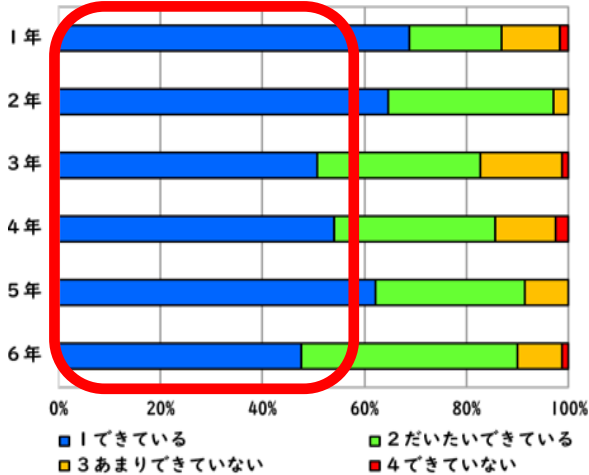


アンケートの結果から、家庭学習については子どもたちと保護者の方で認識の違いがありました。家庭学習については、学年×15分を目安としています。学年が上がるにつれて時間も長くなるため、高学年になるにつれて目安の時間を達成できていないと感じている児童が多くなっています。教科学習だけではなく、単元末テストや漢字テストに向けての学習をしたり、自分が興味のあることを調べる自主学習に取り組んでみたりするなど、自主的に学習する態度を身に付けてほしいと願っています。これからは、自分で問いをもち、学びの計画を立て、GIGA端末などを有効に活用しながら解決していくといった自分の学びをデザインする力が求められます。そのような学びができるように宿題の出し方を工夫したり、自主学習の取り組み方について学年に応じて系統立てたりするなど学校全体でさらに取り組んでいきたいと思っています。

生活習慣について（左：児童 右：保護者）

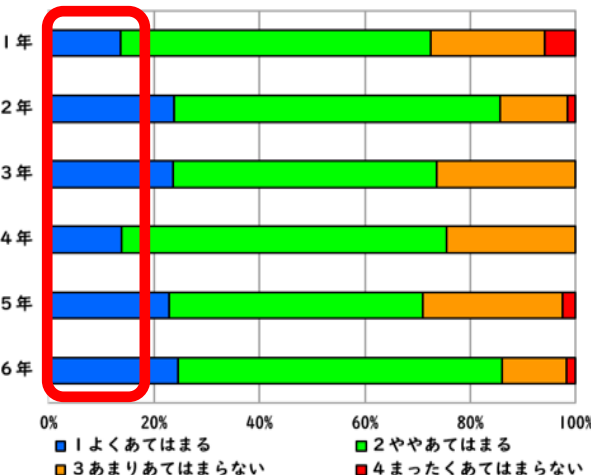
【児童アンケート結果】

進んであいさつしている



【保護者アンケート結果】

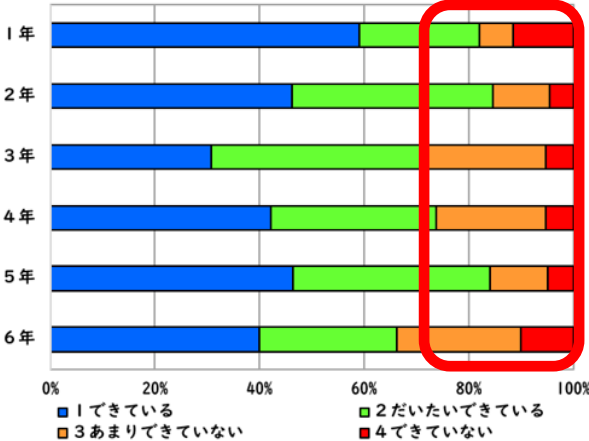
進んであいさつできるようになった



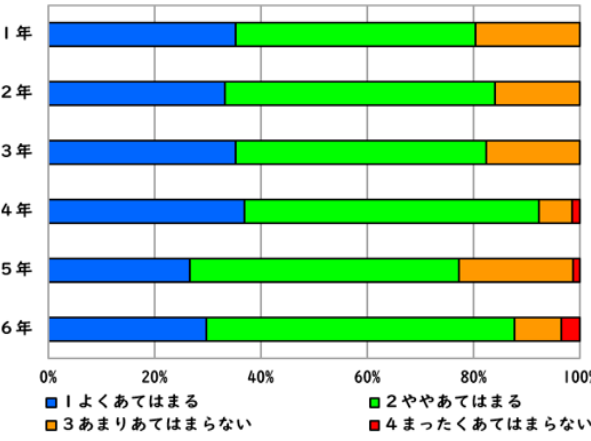
◆「進んであいさつできるようになった」は例年、子どもたちと保護者の方の「よくあてはまる」の回答に差が出ています。子どもたちの「あいさつができていない」基準と保護者や教職員の「あいさつができていない」基準に違いがあることも考えられます。「相手の目を見て」、「大きな声で」、「気持ちのよいあいさつ」を繰り返し伝えていかなければならないと感じています。あいさつをすることの良さを伝え、高学年や大人があいさつのモデルを示していくことを常に意識し、葛野小学校や家庭、地域に素敵なあいさつが広がることを願っています。

◆早寝早起きについては、児童において、プラスの回答も多いですが、マイナスの回答も20%以上ありました。早寝早起きできていないと感じている児童も多いようです。また、保護者の方も「よくあてはまる」「ややあてはまる」の割合が非常に高くなっています。早寝早起きをすることで生活リズムを整え、学習の準備ができるように生活リズム調べ等を通して子どもたちにさらに呼びかけていきたいと思っています。

早寝早起きできている



子どもに早寝早起きさせている



葛野きずなの会の皆様より

日々、葛野小学校の教育を支え、見守ってくださっている地域の皆様からご意見をいただいております。「葛野小学校の子どもたちは大変素直であり、とても仲がよい。」「高学年が中心となり、集団登校では低学年の子どもたちの安全に気を配りながら登校する子どもたちが多い。」等ご意見をいただきました。

一方で、あいさつについては「少し寂しく思うことがある。」「子どもたちのよりよい育ちには、学校と地域、大人も子どもが深いつながりをもたなければならない。その第一歩があいさつであるため、大きな声で気持ちのよいあいさつを心がけてほしい」とご意見いただきました。

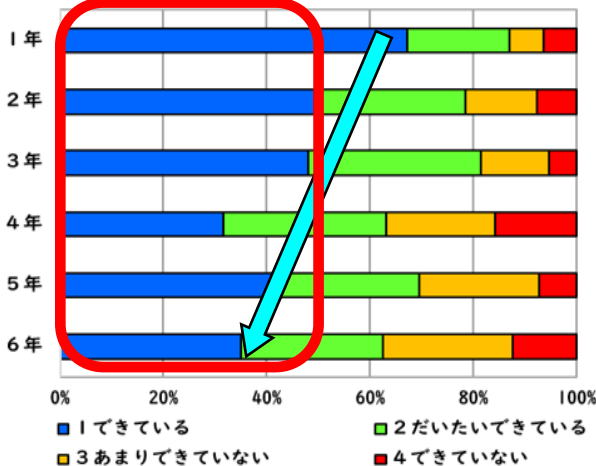
また、学校でも地域でも悪い時には叱られることは大切であるが、次からは自分で考えて正しい行動できるように周りの大人が温かく見守りながら子どもを育てていくことが重要であるご意見いただきました。ありがとうございました。

読書についても例年と同様に学年が上がるにつれてよく読んでいるという割合が低くなっているのが課題です。高学年は低学年に比べ、宿題や自主学習に費やされる時間も多くなるため、読書をする時間を確保することが難しくなるという実態もあるかもしれません。

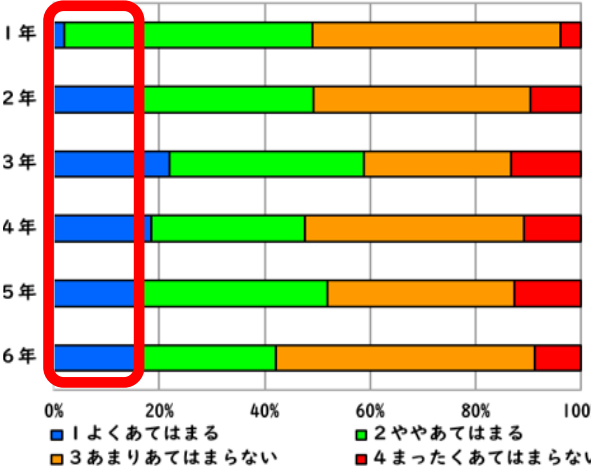
スマートフォンやタブレットの活用が多くなっている現在、写真や映像だけでなく、想像力を働かせながら読むという時間も大切にしていきたいと感じています。葛野小学校の学校図書館にもたくさんの本がそろっています。たくさんの本に親しむことができるようにご家庭でもお声かけしていただけるとありがたく思います。どうぞよろしくお願いいたします。

読書の習慣化（左：児童 右：保護者）

本をよく読んでいる



読書するようになった



12月にも学校評価アンケートを実施し、結果を3学期にお知らせする予定です。年度の折り返しとなったこの時期に、再度この資料にある項目を中心に、児童への温かいお声かけをお願いいたします。今後とも、学校・家庭・地域が一体となって児童の健やかな成長を見守っていければと思います。ご協力をよろしくお願いいたします。